

一般社団法人日本真空学会への名称変更と組織改革

——さらなる発展に向けて——

会長 尾浦憲治郎（大阪大学）

2011年2月に一般社団法人として出発した日本真空協会の会長に就任して約1年が経過いたしました。この間、関係各位から賜りましたご支援とご協力に厚くお礼申し上げます。任意団体としての50有余年間に育まれてきた協会の良き伝統をさらに発展させつつ、社団法人として求められる社会的な責任を果たし、真空に関する学術と技術の発展に大きく貢献できる協会とするために必要な施策について、理事会の下にいくつかのワーキングを設置して改革を進めて参りました。将来ビジョン検討ワーキングでは、組織の名称、会員サービス、注力すべき事業、部会、支部、委員会、真空誌、連合講演会、夏季大学、研究例会、規格標準、資格認定、表彰、会員増強、財務、組織、理事会、会費、事務局など協会の関係する課題と将来展望について、聖域を設けずにゼロベースで集中的な議論を行いました。それらを受けて、財務基盤強化検討ワーキングと組織・定款等検討ワーキングの2つのワーキングにおいて、速やかに実行すべきものについての具体的な検討を行いました。理事会審議および2月28日の総会での承認を経て、日本真空学会への団体名称変更などいくつかの組織の変更と改革を実施することになりました。本稿では、その要点について会員各位にお知らせいたします。

(1) 一般社団法人日本真空学会 への名称変更

従来から議論されていながら実現しなかった件ではありますが、法人会員を含む多くの会員のご意見も参考にし、2月の総会で承認されました。

(2) 委員会と部会の役割明確化

これまで若干わかりにくかった委員会と部会のミッションを明確にし、委員会については以下のような構成としました。

- 事業計画委員会
- 財務委員会
- 教育委員会
- 編集委員会
- 講演・研究会企画委員会
- 産学連携委員会
- 規格・標準委員会
- 広報委員会
- 国際委員会
- 真空技術者資格認定委員会

(3) 部会活動の強化

日本真空学会がカバーする学術や技術の各専門分野毎の活動が活発に行えるよう

に、部会の新設を目指すことにしました。現在は新設された部会を含めて以下の2つの部会がありますが、他分野での部会の設置を積極的にご提案下さるようお願いいたします。

○スパッタリングおよびプラズマプロセス技術部会

○機能薄膜部会（新設）

(3) 支部活動の強化

地域における活動強化と会員サービス向上を行えるように、支部増設を目指すことにしました。従来に関西支部に加えて東海支部も設置されます。他地域での設置も積極的にご提案下さるようお願いいたします。

○関西支部

○東海支部（新設）

(4) 会費の値上げ

日本のものづくりの基盤技術である真空科学・技術をアカデミアの立場から支える日本真空学会の活動を強化するため、会員の皆様には大変心苦しいお願いではありますが、今年度から会費を値上げさせていただきました。今後、会員サービスの一層の向上に努力致しますので、ご理解下さるようお願い致します。

(5) 組織および財務の透明性向上

社団法人としての基準を満たすために組織の見直しおよび財務の整理統合を行いました。

上記のように、今回、団体の名称変更と若干の組織改革などを行いましたが、その他にも検討すべき課題が残されています。引き続き取り組んで参りますので、今後も会員諸氏のご支援とご協を賜りますようお願い致します。